

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372002234
事業所名	グループホーム フラワーサーチ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会長や地域包括支援センターの担当者から参加要請のあった地域の夏祭り(天伯祭り)に、約1/3の利用者が家族や職員と共に参加した。設立15周年の行事として、地域を対象とした「秋祭り」を開催し、利用者や家族、学生ボランティアを含めて約100名を集客した。「鮎の解体ショー」等の出し物で大盛況であった。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 毎偶数月に、年間6回の運営推進会議が開催されている。利用者、家族、地域包括支援センター職員、自治会長、民生委員児童委員等、参加メンバーはほぼ固定されており、出席率が高い。別の日に行われている「身体拘束廃止委員会」の活動も、この会議で報告されている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議の「行政枠」として、地域包括支援センター職員が毎回会議に出席している。広域連合のエリアのグループホームが集まり、「東三河グループホーム協会」を組織して活動している。協会の取り組みとして、定期的に他法人ホームとの交換研修が行われており、今後積極的に参加する意向である。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 定期的(3ヶ月に1回)の頻度で「お客様だより」を発行し、ホームや利用者の様子を家族に伝えている。担当制(利用者それぞれに担当職員が付く)を取り入れ、利用者や家族の意見や要望が適切に把握できるようになった。「歩行が困難になったとき、ホーム在庫の車いすを使うのではなく、その人に合った車いすを使いたい」との家族意見が取り入れられた。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎